

2021年
夏

どうそ 満 議員活動報告



発行責任者 道祖 満
飯塚市鯉田2525-44
TEL 25-3280

つくります!
newしいづがライフ

飯塚市議会議員

どうそ

道祖

満

皆様お元気ですか。

暑い中、新型コロナウイルス感染症防止 対策ご苦労様です。

毎日暑い日が続きますが、皆様お元気ですか。

5月より75歳以上の高齢者の新型コロナウイルス感染防止のワクチン接種が始まりましたが、中々、上手く接種に結びつかない状況が続いている様です。

私も65歳以上の高齢者の対象となり、市から6月3日にワクチン接種の予約券が手元に届きましたので、服用中の薬が切れる6月10日に掛かり付けの病院へワクチン接種の予約をお願いいたしました。すでに予約が一杯で何時接種が出来るか分からないとのことでした。(飯塚市の75歳以上の高齢者は約2万2千人いますが、65歳以上の高齢者を加えると約4万2千人います。)飯塚市の集団ワクチン接種の7月分の予約受付は6月21日からとなっていましたので、予約が取れるかどうか分からないので、田川市の県立大学で行われている集団ワクチン接種の受付に電話したところ、6月12日の土曜日に接種の予約をすることが出来ました。

ワクチン接種の当日は、接種会場の指定の駐車場に予約時間の30分前に行き、係員の指示に従って、接種予約の確認等の手続き後、ワクチン接種を受け、2回目のワクチン接種の予約手続きを行っている間にワクチン接種後の経過観察時間の30分間が過ぎ、会場を退場しました。(2回目のワクチン接種は4週間後の7月10日となっていますので、この市議会議員活動報告を皆様の手元に届けさせて頂く頃にはワクチン接種が完了している予定です。)

飯塚市議会では、5月20日より5月28日まで、臨時市議会が開催され議員任期後半の2年間の常任委員会等の所属変更が行われました。

また、6月11日から6月24日まで6月定例市議会が開催されました。

臨時市議会が開催されました。

5月20日より5月28日まで臨時市議会が開催されました。

この臨時市議会は、5月20日の本会議が開催され、会期を5月24日までとする日程が決められましたが、5月24日に「会期を5月31日」までとする議員提出の動議が突然、本会議に出され、賛成多数で日程変更が可決致しました。

(議会の日程は、地方自治法の定めに従って議会運営委員会に諮り議会の運営に関する事項として協議決定しますが、今回は、不思議なことに、議会運営委員会の協議決定と異なる日程変更が、本会議で議員提出の動議として提出され、この動議が本会議で賛成多数で可決され、その結果、日程が変更になりました。

議会運営委員会で協議し決定に賛成した議員たちが、本会議で、自分たちで決めたことを否定するということが起こりました。

このことは、地方自治法に定められた、議会運営委員会を蔑ろにする行為であると考え、各会派で構成する代表者会議で、議会運営委員会の意義について再考することを申し入れいたしました。)

この臨時市議会では、専決処分の承認議案3件と報告事項1件が審議されました。

議案の主なものは、専決処分の承認議案「令和3年度飯塚市一般会計補正予算(第1号)」(新型コロナウイルス感染症対策として、主に65歳以上の高齢者へのワクチン接種を当初9月末までに完了する計画を、7月末までに完了するための予算等4億2,008万9千円を追加し、一般会計予算を760億4,708万9千円とするものです。)

また、この臨時市議会では、任期後半2年間の議会運営委員会委員、常任委員会の所属変更が行われました。(わたしは、経済建設委員会に所属することになりました。)

6月定例市議会が開催されました。

6月11日より6月24日まで6月定例市議会が開催されました。

6月定例市議会では、補正予算議案3件、条例議案8件、その他の議案2件、専決処分の承認議案2件、報告7件の審議が行われました。

◎令和3年度飯塚市一般会計補正予算(第3号)は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う、低所得子育て世帯生活支援特別給付金事業1億1,575万1千円、小学校修学旅行追加費用補助事業費1,865万1千円、中学校修学旅行追加費用補助事業費4,556万1千円等3億410万3千円を補正し、予算総額を764億3,142万5千円とするものです。

◎令和3年度飯塚市一般会計補正予算(4号)は、新型コロナウイルス感染症に伴う、生活困窮者自立支援金支給事業費5,896万1千円等6,106万1千円を補正し、予算総額を、764億9,248万6千円とするものです。

◎令和3年度飯塚市水道事業会計補正予算(第1号)は、水道料金値上げの為、料金シ

システムを改修する委託料 533 万 5 千円を補正し予算総額を 43 億 294 万 4 千円とするものです。

条例議案の主なものは、

◎飯塚市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

(固定資産の審査申出書、口述書への押印を廃止することに伴い関係規定を整備するもの。)

◎飯塚市集会所及び生活館条例の一部を改正する条例

(中三集会所の無償譲渡に伴い廃止するもの。)

◎財産の譲渡

(幸袋の木造瓦葺 2 階建 146.12 m²の中三集会所建物を認可地縁団体大谷町自治会に無償譲渡するもの。)

◎飯塚市交流センター条例の一部を改正する条例

(庄内交流センターと庄内保健福祉総合センターハーモニーを複合化するに当たり、庄内交流センターの位置の変更と使用料を変更するもの。)

◎飯塚市庄内保健福祉総合センターハーモニー条例の一部を改正する条例

(交流センターと複合化するに当たり、施設の管理区分、休館日の変更を行うもの。)

◎飯塚市水道事業給水条例の一部を改正する条例

(水道事業の今後の安定給水の確保、給水サービスの維持のため料金改訂を行うもので、基本料金及び従量料金の改定を標準モデルのメーター口径 13mm・使用水量 20 m³(3~4 人世帯を想定)、現行税込み月額 2,266 円を改定後税込み月額 3,058 円、増額 792 円とするもので、令和 4 年 1 月 1 日から施行：使用量検針と 2 か月分徴収のため、令和 4 年 4 月徴収分から実施)

水道料金の改定については、令和元年度水道事業会計決算において監査委員より、

○令和元年度の損益計算は、総費用 21 億 3,835 万円に対し、総収益 20 億 209 万円 純損失 1 億 3,626 万円となっている。

○給水収益が、5 年間続けて減少している。

○有形固定資産減価償却率は 45.62%で資産の老朽化が年々進んでいる。

○水道管路の法定耐用年数 40 年を超えた管路延長の割合を表す管路経年化率は 25.11%となっており、水道管路の 4 分の 1 が 40 年以上の古いものとなっている。過去 3 か年の管路更新率の平均は 0.67%で、単純計算では全ての管路更新には 140 年以上を要する。

○赤字については、飯塚市の 1 m³の供給単価 141.24 円に対して給水単価は 152.93 円となっている。

○水道料金回収率は 3 年連続 100%を下回っている。

この様な内容から、収入より費用が大きい状況が継続する事業の経営は成り立たない。

資産の状況、更新コスト、施設規模、大規模な災害や予測不可能な費用に対する支出の準備など将来にわたって安定的な水を供給していくための適正料金のあり方について検討することが必要である。今後、中長期的な計画を策定されるとともに、市民が責任ある選択を行えるように各種の情報を開示し、市民と一体となった健全経営と財政基盤の強化に努められるように要望する。と指摘されていました。

また、令和 2 年 10 月に「飯塚市上下水道事業経営審議会」に、「飯塚市上下水道事業の経営状況等について」諮問していました答申が令和 3 年 3 月にありました。

「水道料金水準の見直しについて」の答申内容は、次の通りです。

- 料金体系については、二段階基本料金・基本水量付増型の現行のままが妥当。
- 料金算定期間は、令和 4 年度から令和 8 年度までとし、経済情勢等の変化に対応できるように、5 年を目途に定期的な見直しを行うことが妥当。
- 料金改定率は、市民生活への影響が最も少なく、最低限度の事業運営を行うためには、少なくとも 35%の改定率が必要。
- 改定時期については、経営悪化は進行中であり、将来に向けた水道水の安全、確実な給水及び供給体制を早期に確保し持続させるため、出来るだけ速やかに行う必要がある。

ごみ専用指定袋の価格値下げへ

（一般質問の要望通る。）

◎飯塚市廃棄物の減量及び処理の適正化等に関する条例の一部を改正する条例

（市民や市内業者の経済的な負担の軽減を図るため、ごみ専用指定袋の金額の見直しを令和 4 年 4 月 1 日より行うもの。）

家庭系	大 10 枚税別 700 円を 500 円	事業系	大 10 枚税別 1,000 円を 700 円
	中 10 枚税別 400 円を 300 円		中 10 枚税別 600 円を 450 円
	小 10 枚税別 200 円を 150 円		

ごみ専用指定袋の価格改定については、令和 2 年 3 月定例市議会で、「ふくおか県央環境広域施設組合に関連して」と題して一般質問を行いました。

1 市 4 町の合併の際には、価格差のある使用料金等については、原則低い方へ合わせる考えで合併協議を行ってききましたので、環境広域組合も広域合併の考えで対応すべきであると考えて一般質問を行いました。

一般質問では、「2 市 2 町の可燃ごみのごみ袋の大きさ・価格が異なるがどうなっているのか。今後、広域で運営を行っていく訳であるが、ごみ袋の大きさ、価格の見直しを行う考えがあるのか。」質しました。

（飯塚市大・容量 45ℓ・10 枚税別 700 円、中・容量 30ℓ・10 枚税別 400 円：嘉麻市・

桂川町大・容量 50ℓ・10 枚税別 500 円、中・容量 30ℓ・10 枚税別 300 円)

その際の答弁では、「今後、施設の再編により、収集・処理経費が大幅に変われば見直しが必要になると考える。」とのことでした。

ふくおか県央環境広域施設組合では、ごみ処理については、令和 5 年 4 月 1 日より、○嘉麻市の焼却場を停止し、嘉麻市・桂川町のごみについては、桂川町のごみ焼却場桂苑で行う。

○固形化燃料 RDF として大牟田リサイクル発電に搬入していたものについては、処理場を廃止する。

○飯塚市内のごみについては、飯塚市クリーンセンターでごみ焼却を行う。

以上のことを協議し決定致しました。

この結果が、ごみの収集・処理経費の削減効果につながり、一般質問での答弁の趣旨に沿って今回のごみ専用指定袋の価格見直しが行われることになりました。

(新型コロナウイルス感染症対策として、令和 4 年 4 月 1 日よりの価格見直しを行うとの説明がありました。)

「街づくり（定住人口促進について）」と、 公共施設のあり方について一般質問

飯塚市では、少子高齢化社会に対応するために、定住人口の増加に取り組むとともに、安定した市政運営を可能にするため行財政改革に取り組んでいます。

平成 18 年の 1 市 4 町合併後、行財政改革の一環として、平成 20 年に「飯塚市公共施設等のあり方に関する基本方針」を作成し、現在、平成 29 年 7 月に作成された第 3 次実施計画に沿って公共施設の統廃合・廃止等に取り組んでいます。

また、今回開催の 6 月定例市議会に、令和 3 年 3 月作成の第 3 次実施計画の改訂版が提出されました。

この「飯塚市公共施設等のあり方に関する第 3 次実施計画」と、街づくりによる定住人口促進について、市の考えを質しました。

質問 飯塚市の定住人口増加ため、色々取り組まれていると思いますが、どのような取り組みを行われていますか。

答弁 定住・移住を促進する施策として、中古住宅、新築住宅の取得に対する補助金、住宅改修に対する補助金、金融機関と連携し移住し住宅取得をする際の住宅ローンの金利優遇を行っている。また、今年度より市ホームページの移住関連ページの改良や PR 動画の作成、パンフレットの改訂を予定している。移住に関する相談体制の強化などにも取り組む計画をしている。

質問 何故、定住人口増加のための努力をしているのですか。

答弁 人口の減少は、街の機能が小さくなる、持続可能な都市になるためと考えている。

質問 過去5年間で飯塚市の住民登録の増減状況は、各地区どのようになっていますか。また、増減の原因についてはどのように分析していますか。

答弁 市内12地区の人口増減状況を、平成28年12月31日と令和2年12月31日で比較した時、立岩地区の人口が447人増の12,359人・庄内地区の人口が19人増の10,497人で、増減無しが1地区、他の9地区については減少している。

人口の増減の要因については、出生数を死亡数が上回る自然減の状況が続いていることと、全体的に市外への転出の傾向が、大きな要因と考えている。

人口が増加している、立岩・庄内地区については、福岡都市圏へのアクセスが良く、民間開発でマンション建設や住宅地開発が進んでいることが、増加の要因として考えられる。

質問 増減の原因分析から、定住人口を増やすための有効な施策は何だと考えますか。

答弁 働く場所が市内にあること・福岡都市圏の居住者、通勤者を対象に飯塚市での暮らしやすさを情報発信し居住地に選択して貰うことが必要と考える。

質問 今後、JR新飯塚駅周辺地域で、定住人口が増加する可能性がありますか。

答弁 人口増加につながる可能性は高いと考えるが、住宅地整備を考えたとき、未利用地はすくないと思う。

質問 現在、新飯塚駅東口にサン・アビリティーと飯塚市社会福祉協議会等がありますが、この施設の土地所有者は飯塚市だと思いますが、土地の面積は幾らありますか。また、建物は何かあり、使用目的はどのようになっていますか。

答弁 土地は飯塚市の所有で、面積は8,892.39㎡(約2,695坪)となっている。

障がい者の社会参加促進のための活動拠点施設サン・アビリティー、飯塚市社会福祉協議会本所と飯塚支所事務所、飯塚保護区保護司会事務所、飯塚市シルバー人材センターごみ専用指定袋倉庫引き渡し作業所として使用している。

質問 サン・アビリティーについては、公共施設等のあり方に関する第3次計画(平成29年7月作成)では、1983年4月1日建築33年経過劣化状況はC中程度、評価はC、となっています。現状は、その後6年間の経過しています。建築から38年経過していますが、劣化状況の変化はどうなっていますか。

飯塚市社会福祉協議会等の建物については、すでに30年間は過ぎているのではないかと思います。市の方で確認は出来ますか。

答弁 サン・アビリティーについては、令和2年度に劣化診断を行った。評価はC。

屋根や外壁などに経年劣化が見られたため改修を行った。今後、長寿命化(建築より80年間)維持していく考えである。飯塚市社会福祉協議会の本所は築35年、別館は築24年経過している。

質問 JR新飯塚駅東口に隣接する土地、建物について今後どうあるべきかを検討する

ことが、飯塚市の街づくり、定住政策には必要ではないかと考えますが如何でしょうか。

答弁 現在のサン・アビリティーのある場所は、障がいのある方にとっては、適地ではないかと考えている。公共交通機関を使って利用出来るなどの条件を満たされれば移転は可能かと考えるが、慎重な取り組みが必要と考える。

質問 この5年間街の形態が変わって来ていますが、街づくりに対する協力の話をしたことが在りますか。

答弁 相手方に、そのような話をしたことはありません。

JR新飯塚駅東口に隣接する市有地にある建物等の移転については、関係者との協議が必要であるとは考えますが、現在ある機能が公共交通機関を利用しやすい場所に移転可能であれば、移転させて、定住者の集約を図ることを考えるように要望致しました。(市有地で公共交通機関の利用しやすい場所については、JR鯉田駅より約700mの距離にある廃校になった飯塚市立第三中学校跡地はどうか検討することも併せて要望致しました。)

経済建設委員会報告

6月21日に開催されました経済建設委員会では、次の報告がありました。

◎「オートレースの運営状況等について」の報告

内容は、令和元年度売上額 154億826万3,300円 収益額 7,428万6,000円

令和2年度売上額 207億5,966万8,400円 収益額 2億9,068万1,000円

オートレースの収益金は、飯塚市一般会計予算に昭和32年から平成9年までの間、合計約587億4,600万円繰入れられ市の施設建設等に活用されました。

◎「飯塚市普通会計財政見通し」(令和3年4月現在)の報告

令和3年度から5年度を対象年度に3年間の財政見通しの説明がありました。(参考値として、令和7年度から12年度も表示されています。)

令和2年度 歳入897.7億円 歳出894.6億円 財政調整・減債基金残高152.8億円

令和3年度 歳入718.5億円 歳出739.5億円 財政調整・減債基金残高133.0億円

令和4年度 歳入678.9億円 歳出701.7億円 財政調整・減債基金残高111.4億円

令和5年度 歳入656.2億円 歳出666.3億円 財政調整・減債基金残高102.4億円

参考の令和7年度の歳入は649.6億円、歳出657.9億円、不足分8.3億円を財政調整・減債基金から補うと基金残高84.4億円となり、参考の令和12年度では、歳入633.0億円、歳出641.0億円、不足分7.9億円を財政調整・減債基金から補うと基金残高は39.4億円となることが予想されるとの、厳しい財政見通しの報告がありました。

また、合わせて、「飯塚市公共施設等のあり方に関する関連計画(改訂版)の策定についての報告がありました。

市民運動公園再整備に着手

昨年の12月定例会市議会の一般質問で、「新体育館建設に関連して」周辺の公園整備についての市の考えを質しました。

その際の市に対して、「新体育館建設の敷地周辺は、市民公園として整備されていますが、運動広場、テニスコート等の利用はあっているが、小高い丘に東屋が整備されている周辺の公園は、木々が密集し、視界が悪いためなのか、利用している人を見ることが在りません。新体育館を市民が利用する時期に合わせて、市民が集い、利用出来る公園に再整備する。」ことを要望致していました。

令和3年度一般会計予算に新型コロナウイルス感染症に対する地域経済対策予算として、公園整備費用3千万円が計上されました。

この予算を利用して、要望していた、東屋周辺の樹木の伐採等を行い市民運動公園の再整備に着手するとの市の考えが示されました。

周辺全体の再整備については、今後検討して行く事になりますが、まず、密集して見通しの悪い環境を改善していくとの説明がありました。



新体育館前の公園

新「飯塚市地方卸売市場」視察

令和3年5月3日に開場した新「飯塚市地方卸売市場」を、6月24日に佐藤議員と視察をしました。（新型コロナウイルス感染症防止のため、視察時期をずらしました。）担当職員に運営状況を尋ねたところ活発な取引が行われているとのことでした。これまで菰田地区にありました、旧飯塚市地方卸売市場跡地には、株式会社イズミの大型商業等施設「ゆめタウン」が進出する予定です。（7月10日に市役所でこの施設の説明会が行われる予定ですので、参加を希望しています。）

